

2018年6月27日

兵庫医科大学病院
病院長 難波 光義

患者様の個人情報記録されたノート型パソコンの紛失について

兵庫医科大学病院では、かねてより個人情報保護の方針を遵守すべく、病院職員に対して再三注意喚起とともに職員教育を行ってまいりましたが、この度、下記のとおり患者様の個人情報記録されたノート型パソコンを紛失する事案が発生いたしました。現在、盗難の可能性も含めて引き続き捜索を続けております。この度の経緯等の詳細について報告申し上げるとともに、患者の皆様をはじめ、その他関係各位に多大なるご心配とご迷惑をおかけすることになりましたことを心よりお詫び申し上げます。

1. 紛失した機器

ノート型パソコン（13インチサイズ、以下「ノートPC」） 1台

2. 機器に記録されていた情報

2013年12月から2018年4月までの間に兵庫医科大学病院 消化管内科において上部消化管の疾病と診断され、内視鏡手術や化学療法を受けた患者様のうち、計374人に関する個人情報

（患者様の氏名、ID、生年月日、年齢、性別、診断名、内視鏡画像、病理検査結果、化学療法投与薬剤名。患者様の住所、電話番号は含まれておりません）

3. 発覚の経緯

2018年6月8日（金）19時頃より、消化管内科の共同の医師居室内においてノートPC（※院内症例検討会で使用する資料作成など、研究遂行上必要であったため上記2の情報保存）を使って作業をしていた医師が、20時半頃、自身のバッグの中にノートPCを入れたつもりで大学病院を出ました。その後、神戸市内の飲食店に一旦立ち寄り、帰宅してからバッグを開くとノートPCが見当たらなかったため、当該医師は「バッグに入れたと思っていたが共同の医師居室内に置き忘れてきたかもしれない」と思い、急いで大学病院に戻り同居室の中を探しましたが見当たりませんでした。さらに、立ち寄った飲食店付近も捜索しましたが見つからなかったため、翌9日（土）4時頃、生田警察署に紛失届を提出しました。

6月12日（火）に当該医師は上司に状況と経過を報告し、消化管内科全体での捜索も続けましたが見つからなかったため、6月15日（金）にノートPCの紛失について書面で病院長へ報告しました。6月18日（月）に個人情報保護委員会を開催し、「大学病院を出てから帰宅するまでバッグを一度も開けなかったはずなのに中に入っていなかった」など、当時の状況から総合的に判断する限り、当該医師がノートPCをバッグに入れず、同居室内に放置していたため盗難に遭った可能性があることから、同日、甲子園警察署に盗難届を提出しました。以降、現在も引き続き捜索を続けています。

4. 情報漏洩の可能性

6月27日12時現在、本事案によってノートPCに記録された患者様の個人情報が第三者に流出したという情報や、不正に利用されたという事実は確認されておりません。ノートPCはパスワードによるロックがかけられていたため、個人情報が不正利用される可能性は極めて低いと考えておりますが、万が一、個人情報漏洩の事実が確認された場合は、速やかに公表させていただきます。

5. 患者様への対応

上記2に該当する患者様には、6月27日に本件の経緯説明およびお詫びの文書を郵送し、下記のとおり患者様専用の電話窓口（フリーダイヤル）を設置いたしました。

※患者様対応専用の電話窓口

フリーダイヤル 0120-456-613（6月27日～ 土日祝を除く平日：月～金曜 9:00～16:45）

6. 再発防止策

①匿名化されていない患者様の個人情報データを院外に持ち出さないことの厳守を全職員に対して徹底いたします。

②第三者による各診療科の居室への侵入・盗難を防止するため、従来から行っている当直医師による夜間施錠に加えて、監視カメラの増設など院内の防犯体制を強化いたします。

③本件のような事案の再発を回避するためのセキュリティ強化の一策として、パソコン内にデータを保管させないよう、遠隔操作による院内サーバーへのアクセスシステムなど個人情報保護レベルがより高い情報管理手法の導入についても検討を進めてまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

◇患者様からのお問い合わせ

フリーダイヤル 0120-456-613（6月27日～ 土日祝を除く平日：月～金曜 9:00～16:45）

◇報道機関からのお問い合わせ

学校法人兵庫医科大学 総務部広報課

Tel 0798-45-6655